

## 取扱説明書 / 保証書

爬虫類・両生類用 紫外線照射 LED

# REPTILE CIRCLE UV LED USB 5V 2A

レプタイル サークル UV LED USB 5V 2A



このたびは、レプタイル サークル UV LED をご購入いただき、ありがとうございます。

本製品は紫外線 (UVA、UVB)、および可視光を照射する LED ライトです。

- 安全にお使いいただくために、取扱説明書の警告・注意をよく読み、十分に理解してからご使用ください。
- この取扱説明書は保証書も兼ねています。必ずご使用前にお読みいただき、必要事項が記入されているかご確認の上、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合はこの取扱説明書も一緒にお渡しください。

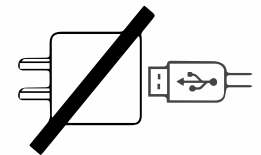
### 製品仕様

品名品目	爬虫類・両生類用 LED 照明
用途	屋内用、爬虫類・両生類飼育用
定格電圧 / 周波数	AC100V 50/60Hz
アダプター出力	DC5V/2A (USB Type-A)
定格消費電力	6W
本体サイズ	直径 約 130×高さ 約 47mm
製品重量	約 160g
コード長	約 2m(コントローラー含む)
LED 素子構成	UVA:4、UVB:2、6000K:12
演色性(Ra)	94.7
ランプ寿命	約 8000 時間
材質	アルミニウム、ABS 等
原産国	中国



重要

付属して  
いません



本製品には電源アダプターは付属していません。  
市販の USB 電源アダプター (Type-A 仕様) や  
モバイルバッテリー等をご用意ください。

※出力 DC5V/2A ※すべてのモバイルバッテリーや電源アダプターでの動作を保証するものではありません。※古いモバイルバッテリー等では動作しない場合があります。※パソコン等へは接続しないでください。デバイスやデータに影響・損害を与えるおそれがあります。

- ※ ランプ寿命はあくまで目安であり、使用期間を保証するものではありません。使用状況により実際のランプ寿命と異なる場合があります。
- 本製品は、改良のため予告なく仕様、デザイン等を変更させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 最新の情報については弊社 HP をご確認ください。

発売元 **神畑養魚株式会社**  
用品部

〒670-0073 姫路市御立中3-3-20  
Tel. (079)297-5420 Fax.(079)293-6467  
ホームページアドレス <https://www.kamihata.co.jp>

本製品は紫外線 (UVA、UVB)、および可視光を照射する LED ライトです。

- 屋内での爬虫類・両生類飼育のみに使用し、その他の用途には使用しないでください。
- 種類や生息地域により、紫外線環境は様々です。(p7「ファーガソソーンについて」参照)。  
飼育生体に合った製品を使用し、様子をしっかりと観察しながら照射距離や照射時間を調整してください。  
生体を購入された販売店様などにご相談されることをおすすめします。
- 飼育ケージ内には、必ずシェルター(日陰・退避場所)を設置してください。
- 夜行性の爬虫類には不向きな場合があります。
- 本製品は保温目的では使用できません。温度調整には別途ヒーター、保温球などをご用意ください。

**警告**

- 正しい電源電圧(AC100V) および周波数(50/60Hz)以外の電源で使用しないでください。  
USB コネクターはかならず定格出力が DC5V/2A の機器に接続してください。(故障、火災のおそれあり)
- 本製品は大量の紫外線を照射します。紫外線は人間の目や皮膚に有害です。点灯中のライトを直視したり皮膚に近づけないでください。(目・皮膚を損傷するおそれあり)。
- 本製品が飼育生体やアクセサリ等に直接触れないように設置してください。
- 本製品の取り付け・交換・点検・移動の際は、必ずライトを切り、電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。(感電、やけどのおそれあり)
- 本製品を天面等に固定する場合は、点灯した状態で天面の開け閉めを行わないでください。
- 本製品を取り付ける場所の耐荷重を確認してください。不安定な場所に取り付けしないでください。  
(落下、破損のおそれあり)
- 製品本体、電源プラグやコンセント、USB コネクターを濡らしたり、濡れた手で触らないでください。
- 本製品を濡らしたり、水中に落としたりした場合はすぐに電源プラグをコンセントから抜き、絶対に再使用しないでください。(感電、発火のおそれあり)
- 点灯中は紙や布でおおったり、近くに燃えやすいものを置かないでください。(発火のおそれあり)
- 本製品を分解・改造したり、構成部品を変更して使用しないでください。(故障、感電、火災のおそれあり)
- 本製品を乱暴に扱ったり、衝撃を加えたりしないでください。
- 製品に破損のある状態では絶対に使用しないでください。(感電、破損、落下によるケガのおそれあり)
- 煙や異臭が発生した場合はただちに電源を切り、販売店様または弊社までご連絡ください。再使用はしないでください。
- 水滴のかかるところ、湯気や結露など湿気の多すぎる所、ほこりの多いところなどでは使用しないでください。  
(感電、発火、故障のおそれあり)
- お子様の手の届かないところに保管してください。また光がお子様の目に直接入らない高さに設置してください。

**注意**

- 屋内用です。屋外では使用しないでください。
- 点灯中や消灯直後は高温のため、触らないようご注意ください。
- 周囲温度が 35℃ を超える環境では使用しないでください。
- 素手で LED 素子に直接触れないでください。(破損、劣化、発熱のおそれあり)。取り付け、メンテナンスなどの際は、手袋などを着用して作業してください。
- 電源プラグや USB コネクターは最後までしっかりと差し込み、タコ足配線などはしないでください。
- 紫外線はガラスやプラスチックなどに吸収されます。本製品と生体の間はガラスフタなどで遮蔽せず、光が直接またはメッシュなどを通して生体に当たるようにしてください。
- 本製品による紫外線照射により、ケージなど周りの製品が退色・劣化することがあります。
- USB コネクターを接続する際は、接続する機器の取扱説明書の記載内容に従って正しく接続してください。
- USB コネクターはパソコンの USB ポートなどに接続しないでください。デバイスやデータに損害・影響をあたえるおそれがあります。データの消失や故障など、本製品を接続したことによって生じた損害について、弊社は一切責任を負いません。

その他のご注意、お願い

- お手入れの際は乾いた布か、水かぬるま湯で濡らしてかたく絞った布などを使用してください。直接水をかけたり、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。
- LED 素子にはバラツキがあり、同一製品やシリーズ製品で明るさや色調が若干異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- LED 素子は寿命近くなると光量が低下し、波長分布帯も変化していくため、定格寿命より早めの交換をおすすめいたします。
- 1日に1度は正常に作動しているか、生体に異常がないか確認してください。
- 本製品を処分する際は、お住まいの自治体が定める区分にしたがって廃棄してください。
- 本製品の使用における、本製品以外(生体・器具・家財など)に対する補償はいたしかねます。

設置のポイント



**重要**

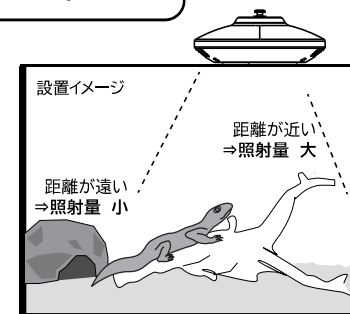
紫外線照射量はライトからの距離によって変わります。  
生体が効率的に紫外線を浴びられるよう、ケージ内に UV 勾配  
(紫外線照射量が多い場所、少ない場所)を設けてください。

**【UV 勾配をつけるポイント】**

- 流木や石などのアクセサリで立体的にランプに近づく場所を作る
- ケージの中心を避けて設置し、ケージ内にランプから遠い場所を作る
- 隠れ家・シェルターなど、生体が紫外線を避けられる日陰を設置する

**【その他、設置のポイント】**

- 最低照射距離(15cm 以上)をあけて設置する
- 光が直接またはメッシュなどを通して生体に当たるようにする  
(ガラスやプラスチックフタで遮蔽しない)
- 生体やケージ・アクセサリなどが直接ライトに触れないよう注意する



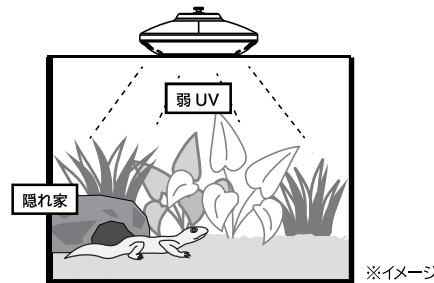
飼育生体に合わせた UV 照射方法

1日のほとんどを日陰で過ごす種、強い日差しの下で日光浴をする種など、爬虫類・両生類は種類によって必要とする紫外線(UV)の強さや浴び方はさまざまです。(p7 ファーガソソーン参照)  
それぞれの生体に合わせて、ケージ内環境や UV 照射方法(位置・強度・時間など)を調整してください。

**シェードメソッド**

ファーガソソーン1~2におすすめ

野生での日陰のような低レベルの UV を、ケージの大部分にわたって提供する方式。

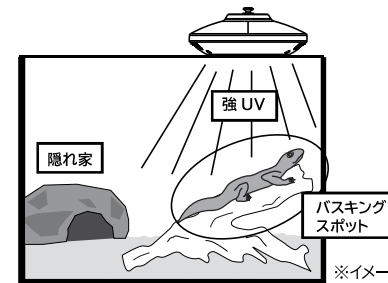


※イメージ

**サンビームメソッド**

ファーガソソーン2~4におすすめ

野生での日光浴(バスキング)の UV 強度を再現し、UV を生体が自分で浴びられるようにする方式。

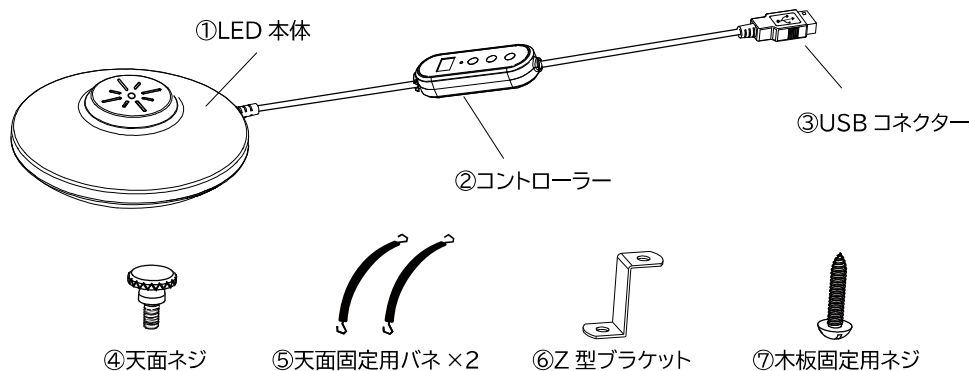


※イメージ

※いずれの場合も、必ず UV が 0 になる場所(隠れ家・日陰)を用意し、生体が自由に行き来できるようにしてください。  
※ファーガソソーンについてはp7をご参照ください。

## セット内容・各部の名称

組み立てる前に、すべての部品が揃っているか、また破損等がないか確認してください。万が一、部品の不足や破損が見られた場合には、そのまま使用せず、販売店様もしくは弊社カスタマーサポートまでご連絡ください。使用開始後のお申し出には対応できない場合がございます。



## 設置方法



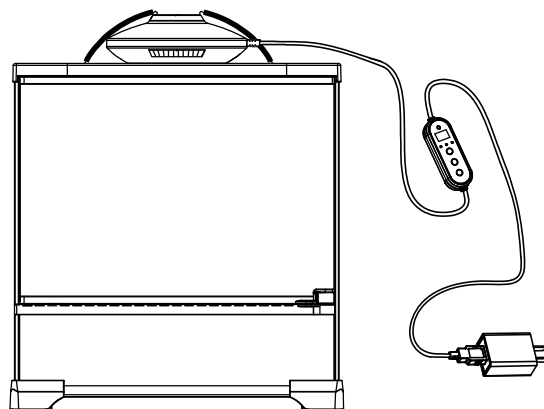
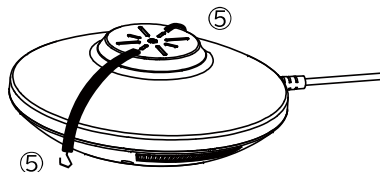
注意

- 本製品の取り付け・取り外しの際は、かならず電源プラグをコンセントから抜いた状態で設置してください。また、他の電気機器の電源もお切りください。
- 設置方法によっては、プラスドライバーを必要とする場合があります。
- 天面メッシュなど、取り付け先の材質、耐荷重量、耐熱温度をお調べの上、安全な場所に設置してください。
- 紫外線はガラスやプラスチックなどに吸収されます。ガラスフタなどで遮蔽せず、光が直接またはメッシュなどを通して生体に当たるようにしてください。

### 1. 天面に載せる or バネで固定

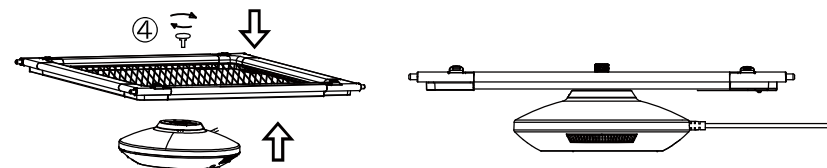
- 1) ①LED 本体を直接天面メッシュの上に載せることができます。
- 2) 万一のずり落ち防止のため、付属の⑤天面固定バネで天面メッシュに固定することができます。  
①LED 本体天面部のスリットに⑤天面固定バネの先端をひっかけ、反対側を天面メッシュにかけてください。

※バネによる固定は急な落下やずり落ちを防ぐ一時的なもので、本体をメッシュに完全に固定するものではありません。  
天面を大きく傾けたり、衝撃を与えると落下するおそれがありますのでご注意ください。



### 2. メッシュ内側に吊り下げ

- 1) ①LED 本体頭頂部のネジ穴と④天面ネジの間にケージの天面メッシュをはさみ、④天面ネジを回して固定します。

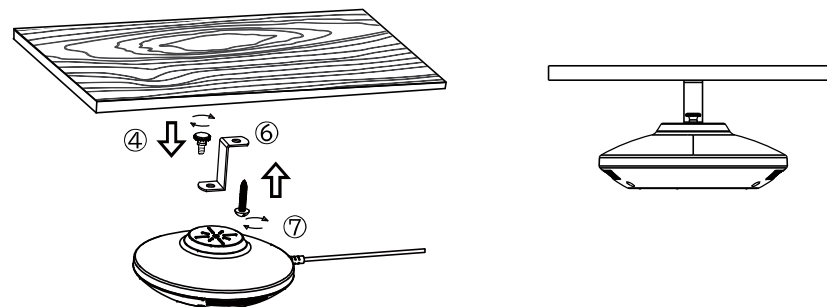


### 3. 木の板などに固定



プラスドライバー、手袋を使用してください。

- 1) 木板等のお好みの位置に⑦木板固定用ネジで⑥Z型ブラケットを固定してください。
- 2) ⑥Z型ブラケットの反対側と①LED 本体頭頂部のネジ穴の位置を合わせ、④天面ネジで固定してください。



警告

本製品を天面やフタ等に設置・固定する場合は、ライトを点灯させたまま天面の開閉などをおこなわないでください。ライトが点灯した状態で天面を開くと紫外線が直接目や皮膚に当たる可能性があり、大変危険です。

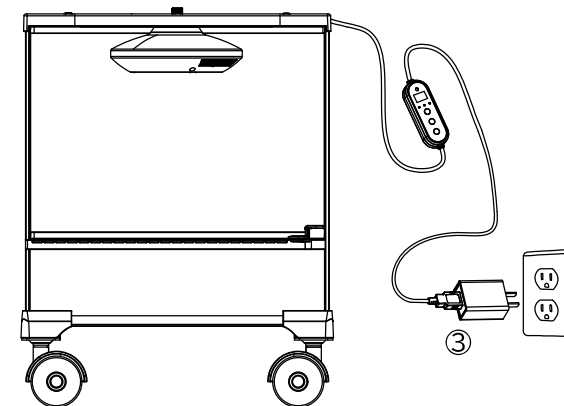
## コード類の接続・起動

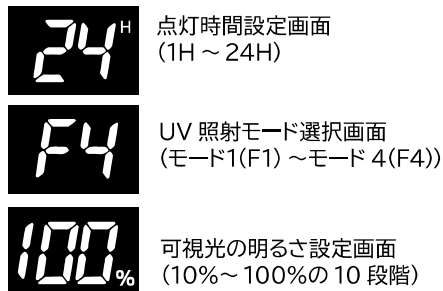
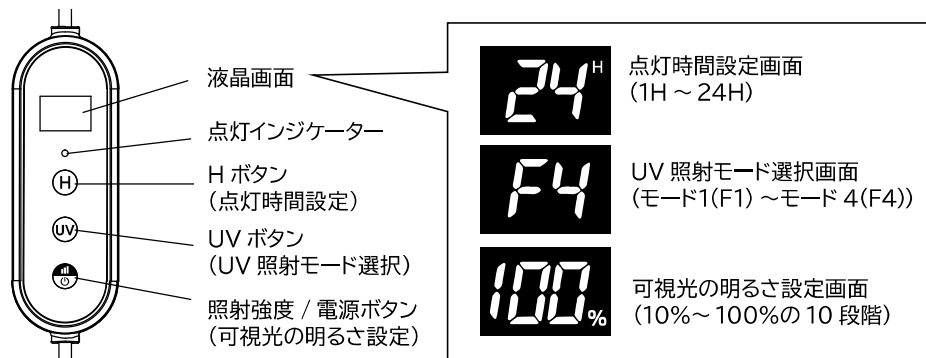
- 1) ③USB コネクターを市販の電源アダプター等(USB5V/2A 機器)に接続してください。

※ 電源コードは最短距離でケージ外に出し、  
②コントローラーはケージ内に入れないでください。

- 2) LED 本体の設置、コード類の接続がすべて正しくおこなわれていることを確認後、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

- 3) 電源ボタンを 3 秒間長押しすると電源がオンになります。



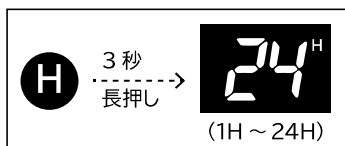


操作方法

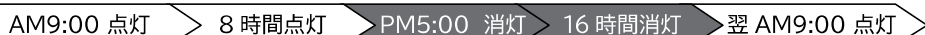
1. 点灯時間の設定

H ボタンを3秒長押しすると、点灯時間設定画面が点滅し、点灯時間の設定が始まります。H ボタンを繰り返し押し、1 ~ 24 時間から希望の点灯時間を設定してください。希望の値でしばらく放置すると確定します。点灯時間を設定したタイミングがセット起点(点灯開始時刻)となります。

※ 別のタイマー等に接続する場合は、「24 時間(常時オン)」に設定してください。



例) AM9 時に 8 時間点灯(8H) セットした場合

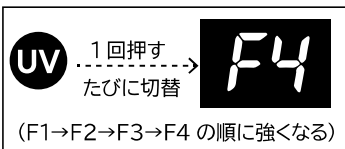


のサイクルを繰り返します。

2. UV 照射モードの選択

UV ボタンを押すと、モード1(F1) ~ モード4(F4)まで4段階でUV照射の強度が切り替わります。

p7「本製品の垂直照射距離によるファーガソンゾーンの目安」を参考に、飼育生体と照射距離に合ったモードを選択してください。

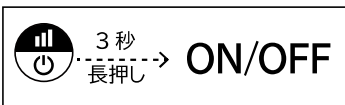
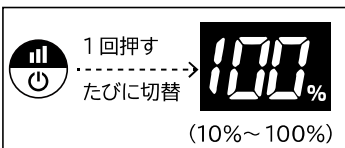


3. 可視光の明るさを設定 / 電源の ON/OFF

照射強度 / 電源ボタンを押すと、可視光の明るさが設定できます。ボタンを繰り返し押し、10 ~ 100%の10段階から希望の明るさを設定してください。

照射強度 / 電源ボタンを3秒長押しすると、電源のオン / オフが切り替わります。

※ ボタンによる電源オフ時は直前の全設定が記憶されますが、電源プラグ抜き差しによる電源オフ時には、開始時刻がリセットされます。



お手入れについて

- 注意**
- メンテナンスの際は、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、他の電気機器の電源もお切りください。
  - お手入れの際は乾いた布か、水かぬるま湯で濡らしてかたく絞った布などを使用してください。
  - 直接水をかけたり、熱湯、アルコール、シンナー、洗剤などは使用しないでください。コードの接続部分や、コンセント部にほこりなどが入らないよう、こまめに掃除してください。

ファーガソンゾーン (Ferguson Zones) とは、アメリカの爬虫類・両生類学者 Gary Ferguson 博士によって提唱された、爬虫類・両生類の種類ごとに適切な UVI の範囲を分類した基準です。多くの野生個体を観察し、実際にどれくらい紫外線環境で生活しているかを調べ、そのデータをもとに4つのゾーンに分けられています。日陰で静かに暮らす種から、正午の太陽の下で活発に活動する種まで、それぞれのライフスタイルに合った適切な UVI の目安を示しており、飼育下での UVBライト選びや設置位置の参考として活用されています。

ゾーン1	薄明かりや日陰を好み、UV 勾配が非常に緩やかな環境に生息。ごく少量しか UV を必要としないため、日中も日光浴をすることがほとんどありません。
ゾーン2	薄明かりや日陰を好み、UV 勾配が緩やかな環境に生息していますが、時折日光浴をおこないます。シェードメソッド / サンビームメソッド両方の UV 照射方法が可能です (p3 参照)。
ゾーン3	日中の限られた時間帯や半日陰で日光浴をおこないます。そのため日光浴をおこなう高い UV 環境エリアから UV が0になる物陰へと大きな UV 勾配を作る必要があります。
ゾーン4	1日中強い日光や高い UV レベルにも耐える種。しかし日光浴をおこなう時間帯の大半はおもに早朝や夕方です。そのため、ゾーン3と同様に日光浴をおこなう高い UV 環境エリアから UV が0になる物陰へと大きな UV 勾配を作る必要があります。

本製品の垂直照射距離によるファーガソンゾーンの目安

以下の表は、4段階の UV 照射モード (モード1 (F1) ~ モード4 (F4)) における、垂直照射距離ごとの UV 照射強度に適合するファーガソンゾーンの目安を記載したものです。

右下の QR コードより、飼育生体のファーガソンモードをお調べいただき、照射距離・飼育環境に合った UV 照射モードを選択してください。(p6 参照)

	15cm	20cm	25cm	30cm	35cm	40cm	45cm
モード1 (F1)	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 シェードメソッド	ゾーン1 シェードメソッド	—	—	—
モード2 (F2)	ゾーン4 サンビームメソッド	ゾーン3 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 シェードメソッド	ゾーン2 シェードメソッド
モード3 (F3)	危険域	ゾーン4 サンビームメソッド	ゾーン4 サンビームメソッド	ゾーン3 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド
モード4 (F4)	危険域	危険域	ゾーン4 サンビームメソッド	ゾーン4 サンビームメソッド	ゾーン3 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド	ゾーン2 サンビームメソッド

※ シェードメソッド / サンビームメソッドについては、p3「飼育生体に合わせたUV照射方法」をご参照ください。

※ 照射距離によるファーガソンゾーンはライトを天面メッシュの上に設置した時の計測値を基準にしています。

ケージ内に吊り下げの場合はファーガソンゾーンが1~2段階上がります。

ファーガソンゾーンに関するご注意

- 記載はあくまで目安です。設置環境や使用期間によって紫外線照射量は変化します。
- 記載されているゾーンに適合する種類であっても、照明直下で浴び続けると紫外線量が過剰になってしまう可能性があります。生体の様子を見ながらモードの変更や飼育環境の調整をおこなってください。
- ライトの位置、設置方法を工夫したり、隠れ家を設置してケージ内に UV 勾配ができるようにしてください。
- UV 要求量は、同じ種類であっても幼体、成体それぞれで変化する可能性があります。アルビノや低メラニン種は、普通種に比べ UV の体内への透過が増すため、曝露量を減らすなど特別な配慮が必要です。

ファーガソンゾーンの生体について詳しくはこちら

